

継続事業評価シート(対象:H28年度実施事務事業)

H29年度評価

事務事業名	図書館北朝霞分館運営事業					事務事業コード	03802
部名	生涯学習部	課名	図書館	係名	北朝霞分館	部課コード	120400

1. 事業概要

総合計画コード	3231				
事業年度	11年度	～	H年度	事業類型	<input checked="" type="radio"/> ソフト事業 <input type="radio"/> ハード事業
法令等の義務付け	<input type="radio"/> 法令等(市条例・要綱等を除く)で義務付けられている事業 <input type="radio"/> 義務と任意の両方を含んでいる事業 <input checked="" type="radio"/> 任意(市条例・要綱等を含む)の自治事務			<根拠法令等(法律、条例、要綱など)> 朝霞市立図書館管理規則、朝霞市立図書館資料収集方針、朝霞市立図書館資料除籍基準、図書館ビジネス支援サービス事業実施要綱	
めざす目的成果	図書館資料の整備充実を図ることで、市民は館内の資料により有益な、また、興味がある情報を的確に入手することができる。				
事業内容	図書館資料の選定から保存、廃棄までの管理 図書館資料の貸出の利用促進 カウンター業務(貸出・返却、レファレンス、予約・リクエスト・相互貸借、利用登録等) カウンター周辺業務(配架・棚整理) ビジネス情報検索端末での情報提供、求人情報の提供等				
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市の完全な直営 <input type="checkbox"/> 委託等(請負、負担金、交付金等を含む) <input type="checkbox"/> 市民等との協働 <input type="checkbox"/> 補助金交付 利用者管理業務及びレファレンス等の司書業務と、配架、棚整理などの業務を一般職非常勤職員により対応している。資料等の選書や収集、HPやパソコンでの情報提供、レファレンスを実施する。ビジネス支援サービスについては、資料やオンラインデータベース情報の提供の他、産業振興課・商工会と連携して実施する。				

2. 実施結果

H28年度の事業の実施内容		図書館資料の選定から保存、廃棄までの管理・図書館資料の貸出の利用促進・カウンター業務(貸出・返却、レファレンス、予約・リクエスト・相互貸借、利用登録等)・カウンター周辺業務(配架・棚整理)・イベント(映画会・図書館事務体験事業・リサイクルフェア)の実施・一般職非常勤職員の管理事務・求人情報・パンフレット等の収集・配布・ビジネス情報検索端末で、ビジネス有料サイトや一般サイトなどからの情報提供読み聞かせの毎月実施				
		単位:千円	H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算見込	
投入コスト	a 事業費[イ]～[ホ]		25,506	25,128	25,660	
	財源内訳	[イ]国庫支出金				
		[ロ]県支出金				
		[ハ]地方債				
		[ニ]その他				
	[ホ]一般財源	25,506	25,128	25,660		
	b 人件費	36,640	39,938	38,838		
	総コスト(a 事業費 + b 人件費)	62,146	65,066	64,498		
投入労働量	常勤職員等(人工)	5.00 人	5.45 人	5.30 人		
	一般職非常勤職員等(時間)	13,887 時間	13,757 時間	13,855 時間		
a 事業費(H28年度決算見込)の執行内訳	報酬 13,711千円 旅費 383千円 需用費 2,378千円 役務費 275千円 委託料 172千円 使用料及び賃借料 501千円 備品購入費 8,240千円					
指標名		単位	H28目標・計画 (H28実績見込)	H29目標・計画 (H29実績見込)	H30目標・計画 (H30実績見込)	最終目標・計画 目標年度
活	① 開館日数	日	327	327	327	327
			(323)	(—)	(—)	H 32 年度
動	② 新刊書の選書回数	回	50	50	50	50
			(50)	(—)	(—)	H 32 年度
成	① 貸出点数(全7館)	点	1,107,000	1,114,000	1,121,000	1,135,000
			(936,000)	(—)	(—)	H 32 年度
果	② 実質登録者数	人	27,500	28,000	28,500	29,500
			(27,000)	(—)	(—)	H 32 年度

3. 事務事業の分析

必要性 (市が関与する必要性はあるか)	判定	<input checked="" type="radio"/> A 必要性が高い	<input type="radio"/> B 必要性がある程度認められる	<input type="radio"/> C 必要性が低い
	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> サービスの拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、市に実施が義務付けられている <input type="checkbox"/> 市が実施しないと、市民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で難しい <input checked="" type="checkbox"/> その他 <説明> 経済格差が教育や就業、生活意欲などに影響を及ぼしている。図書館は、無料で利用できる市民の自主的な生涯学習施設として、読書や学習の意欲の向上を図る役割を担っており、必要性は高い。			
達成度 (事業の目標は達成したか)	判定	<input type="radio"/> A 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="radio"/> B 概ね目標の成果が得られた	<input type="radio"/> C 目標とする成果が得られなかった
	<input type="checkbox"/> 活動指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 成果指標の目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 指標に表れない事項について目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等に関する達成状況を記入> 児童書はPRポップを掲示し、一般書には本に帯を貼ったり、テーマ展示等を行うことで、本の紹介を行い貸出数増のための工夫している。子ども対象の絵本のよみきかせは毎月実施し、定着してきている。ビジネス支援サービス事業では、産業振興課実施のセミナーでビジネス支援サービスコーナーのPRを行っている。			
留意点 (政策の立案・推進に際して)	<説明: 留意した点について記入>			
	思いやり: だれもが居心地のよい図書館になるように資料の整備充実に努めた。 参加と協働: 自主事業に多くの市民が参加できるようにPR等の手法を検討した。 経営的な視点: 利用者の図書資料に対する要望に応えるために予算の範囲内で整備充実に努めた。			
見直し余地 (事業の内容、実施手法等は適切か)	判定	<input type="radio"/> I 見直す余地がない	<input checked="" type="radio"/> II 見直す余地がある程度認められる	<input type="radio"/> III 見直す余地がある
	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 受益者負担のあり方について見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト圧縮の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 <説明> 限られた予算のなかで、図書資料の購入については、厳選しながら資料の充実を図っている。			

4. 今後の展開方針[課としての判断]

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> A 市で継続実施 <input type="radio"/> B 休止・廃止 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> C 民営化 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> D 国・県に移譲 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> E 終了 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度まで <input type="checkbox"/> H29年度まで <input type="checkbox"/> H30年度まで)			
	成果の方向性	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
投入資源の方向性	事業費	<input checked="" type="radio"/> A 拡大	<input type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
	労働費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
今後の取組方針	見直しの方向性		<input checked="" type="radio"/> A 見直して継続	<input type="radio"/> B 現状のまま継続
	<input type="checkbox"/> 民間委託・PFI・指定管理者等を今後導入・拡大	(実施時期 : H	年度)	
	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善	(実施時期 : H	年度)	
	<input type="checkbox"/> 対象・水準等の見直し	(実施時期 : H	年度)	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	(実施時期 : H	年度)	
	<input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員等の活用を今後導入・拡大	(実施時期 : H	年度)	
方針 (次年度の改善内容等を含めた具体的な事業の展開方針)		<input type="checkbox"/> 市民等との協働を今後導入・拡大 (実施時期 : H 年度) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (実施時期 : H 32 年度) 図書購入費減額があるものの、適切な資料提供ができるよう選書に努めるとともに、利用者の図書資料に対する要望に応えるため、相互貸借などの対応を増やし、今後も利用者のリクエストにもできる限り応えていく。平成29年度は朝霞市立図書館30周年であることから、本館と連携し、分館でも展示を行い利用者にPRをし利用促進を図る。		